

年末年始

平成30年

交通安全シンボルマーク



住みよい山口 いつも心に 交通安全

交通安全県民運動

実施期間

平成30年12月10日(月)～平成31年1月3日(木)

運動の重点

反射材・ハイビームの活用促進



スピードダウンの推進



子供と高齢者の安全な通行の確保と
高齢運転者の交通事故防止



夕暮れ時と夜間の歩行中・
自転車乗用中の交通事故防止



全ての座席のシートベルトと
チャイルドシートの正しい着用の徹底



飲酒運転の根絶



県下の統一行動日

- 12月10日(月) 「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日
- 12月13日(木) 「スピードダウン」を呼びかける日
- 12月14日(金) 「飲酒運転の根絶」を呼びかける日
- 12月17日(月) 「子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止」を呼びかける日
- 12月20日(木) 「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」を呼びかける日
- 12月25日(火) 「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用」を呼びかける日

主催：交通安全山口県対策協議会

問合せ先

山口県環境生活部県民生活課
TEL 083-933-2619

反射材を着用して交通事故防止！

過去5年間（平成25年～平成29年）に、山口県内で夜間、車にはねられて亡くなられた歩行者79人のうち、事故時に反射材を着用していたのはわずか4人でした。

反射材は、車のライトなどの光を反射して「キラリ」と光る優れたものです。夜間は視界が悪くなり、ドライバーからは歩行者が見えづらくなります。そんなとき、反射材が光ると、ドライバーはいち早く歩行者を発見でき、交通事故を防ぐことができます。



★ 夜間の歩行者の見え方と自動車の停止距離 ★



横断歩道は 歩行者優先！

過去5年間（平成25年～平成29年）に、横断歩道上で発生した歩行者対車両の人身事故は、894件（年平均178.8件）で、31人（年平均6.2人）の方が亡くなっています。

その事故の原因の約8割が、「横断歩行者妨害」です。

ドライバーの皆さん、横断歩道は

「歩行者が道路を安全に横断できる場所」です。

常に歩行者が安全に横断歩道を渡れるように保護しなければなりません。

特に、信号機のない横断歩道付近では、常に周囲に気を配り、思いやりのある運転を心がけましょう。

